

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	5-4-1	事業名	藻岩山魅力アップ事業
担当	観)観光コンベンション部観光企画課 長澤 Tel.211-2376		
全体計画			
事業内容	藻岩山については、「第4次札幌市長期総合計画」における位置づけを踏まえ、平成16年度に公募市民を含めて設置した懇談会、さらにシンポジウム、フォーラム等を通じ、藻岩山の今後のあり方、グランドデザインや魅力アップの方向性などについて検討を行った。これらを基に策定した「藻岩山魅力アップ構想」は、今後の藻岩山のあるべき姿・方向性を示すとともに、藻岩山で想定される施設の改修や求められる機能、さらにはこの機能を担う施設のガイドラインを示している。 本事業は、この構想に基づき、老朽化しているハード面での再整備を、環境保全と観光開発の調和に留意しながら、来るべき環境重視社会、超高齢社会に対応した施設にしていくとともに、ソフト面でも季節に応じた藻岩山の魅力を伝えることを中心として多様な事業を展開していくことで持続的な集客を確保することとし、ハード、ソフト両面での魅力アップに取り組む。		
	＜年度別の事業内容＞		
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		
	平成20年度事業内容(決算)		
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		
	平成22年度事業内容(決算)		
事業内容	平成23年度事業内容(決算)		
	平成24年度事業内容(決算)		
事業内容	平成25年度事業内容(決算)		
	平成26年度事業内容(決算)		
事業内容	平成27年度事業内容(決算)		
	平成28年度事業内容(決算)		
事業内容	平成29年度事業内容(決算)		
	平成30年度事業内容(決算)		
事業内容	平成31年度事業内容(決算)		
	平成32年度事業内容(決算)		
事業内容	平成33年度事業内容(決算)		
	平成34年度事業内容(決算)		
事業内容	平成35年度事業内容(決算)		
	平成36年度事業内容(決算)		
事業内容	平成37年度事業内容(決算)		
	平成38年度事業内容(決算)		
事業内容	平成39年度事業内容(決算)		
	平成40年度事業内容(決算)		
事業内容	平成41年度事業内容(決算)		
	平成42年度事業内容(決算)		
事業内容	平成43年度事業内容(決算)		
	平成44年度事業内容(決算)		
事業内容	平成45年度事業内容(決算)		
	平成46年度事業内容(決算)		
事業内容	平成47年度事業内容(決算)		
	平成48年度事業内容(決算)		
事業内容	平成49年度事業内容(決算)		
	平成50年度事業内容(決算)		
事業内容	平成51年度事業内容(決算)		
	平成52年度事業内容(決算)		
事業内容	平成53年度事業内容(決算)		
	平成54年度事業内容(決算)		
事業内容	平成55年度事業内容(決算)		
	平成56年度事業内容(決算)		
事業内容	平成57年度事業内容(決算)		
	平成58年度事業内容(決算)		
事業内容	平成59年度事業内容(決算)		
	平成60年度事業内容(決算)		
事業内容	平成61年度事業内容(決算)		
	平成62年度事業内容(決算)		
事業内容	平成63年度事業内容(決算)		
	平成64年度事業内容(決算)		
事業内容	平成65年度事業内容(決算)		
	平成66年度事業内容(決算)		
事業内容	平成67年度事業内容(決算)		
	平成68年度事業内容(決算)		
事業内容	平成69年度事業内容(決算)		
	平成70年度事業内容(決算)		
事業内容	平成71年度事業内容(決算)		
	平成72年度事業内容(決算)		
事業内容	平成73年度事業内容(決算)		
	平成74年度事業内容(決算)		
事業内容	平成75年度事業内容(決算)		
	平成76年度事業内容(決算)		
事業内容	平成77年度事業内容(決算)		
	平成78年度事業内容(決算)		
事業内容	平成79年度事業内容(決算)		
	平成80年度事業内容(決算)		
事業内容	平成81年度事業内容(決算)		
	平成82年度事業内容(決算)		
事業内容	平成83年度事業内容(決算)		
	平成84年度事業内容(決算)		
事業内容	平成85年度事業内容(決算)		
	平成86年度事業内容(決算)		
事業内容	平成87年度事業内容(決算)		
	平成88年度事業内容(決算)		
事業内容	平成89年度事業内容(決算)		
	平成90年度事業内容(決算)		
事業内容	平成91年度事業内容(決算)		
	平成92年度事業内容(決算)		
事業内容	平成93年度事業内容(決算)		
	平成94年度事業内容(決算)		
事業内容	平成95年度事業内容(決算)		
	平成96年度事業内容(決算)		
事業内容	平成97年度事業内容(決算)		
	平成98年度事業内容(決算)		
事業内容	平成99年度事業内容(決算)		
	平成100年度事業内容(決算)		

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-4-1		事業名	藻岩山魅力アップ事業			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
藻岩山の再整備	—	—	基本計画案 策定	基本設計	実施設計 建設工事	整備	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 藻岩山魅力アップ構想施設再整備基本計画案についてパブリックコメントを実施、設計段階においても自然保護関係の市民団体等からの要望を受け、各種集会において計画内容を説明したほか、市民説明会も開催。これらを受けて策定した修正案についてはシンポジウムを開催し市民意見の確認を行っている。 施設整備への市民参加についても、「藻岩の森づくりプロジェクト」を立ち上げ、緑化のあり方に対する市民意見の反映を図るべく、設計者を交えた議論を行った。成果は提言書としてまとめる予定である。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] 収益的施設の整備は札幌振興公社が実施。給排水設備、中腹駐車場の周辺環境整備は、公社による整備を市が支援する形で実施 [人材協力] 藻岩山をフィールドとして活動するNPOや企業の人材を活用することが今後のソフト事業展開に不可欠である。 [情報協力] リニューアルオープンに合わせて、旅行エージェント、情報誌等企業のPR媒体を積極活用し、集客を図る。 [その他の協力] 環境に対する意識の変化に伴い、企業の環境配慮活動や環境教育の場としての藻岩山の活用を提案していく。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 藻岩山は、ロープウェイ、観光道路以外にも登山者の利用が年間10万人にも達するほどの市民に親しまれている山であり、今後も施設整備、環境保全等の面で市民参加、市民理解を得ながら事業を進めていく。また、大都市に近接した豊かな自然環境は国内にも例がなく、企業の環境に対する取り組みをPRする場、NPO等による環境活動の場、さらには子どもたちに対する環境教育の場としても活用できるような藻岩山になることを目指すものである。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>ソフト事業重視の方針を受けて、藻岩山をフィールドとして活動する事業者、NPO等による協力のもと積極的な事業展開を行っている。特に、「藻岩山の日(5/31)」はこれまで6回の開催により、市民の間での事業の定着、藻岩山の魅力の認識が進んでいる。このほか一連のソフト事業の実施により、ロープウェイによる藻岩山への来場者も増加の傾向にあった(20年度、21年度は、冬季の悪天候による運休の影響あり)。また、平成22年度、23年度はロープウェイや展望台施設が工事のため営業していないことから、山麓エリアのイベント、登山イベントで関心をつなぎとめる努力をしており、一定の集客効果を上げている。 施設を使いやすく魅力あるものにするハード面の再整備によって集客増を図ることは当然であるが、魅力あるソフト事業や、藻岩山が資源として有している豊かな自然環境をより多くの市民・観光客に知ってもらうことによってもたらされる集客は、施設リニューアルによる集客効果の後に現われてくるものであり、今後長期的な集客を図っていくうえで重要なポイントであると考えており、藻岩山をフィールドとして活動している事業者・NPO団体により、運営委員会を設立して、イベントや広報の調整、情報共有を図ることとなった。</p>			<p>藻岩山の貴重な自然環境への配慮は、施設再整備の最も重要なテーマであり、19年度に策定した環境配慮ガイドラインを通じて、計画、設計段階から工事、そして供用後に至るまでしっかりした管理を進めていく必要がある。また、こうした自然環境の保全、環境への配慮自体が集客要素として評価される対象にもなると考えられる。 再整備事業は、平成22年度に工事着手となったが、事業実施の主体となる札幌振興公社のほか、土地の所有者である国の関係機関、展望台の設計者、施工者、施工に伴う上下水道、電気、道路等の管理者との調整、さらに天然記念物のエリアであり風致地区、市街化調整区域であることによる規制、運営に関する調整・準備など、関係する機関が非常に多いことから、これらの調整による事業の円滑な進行為重要な課題である。 ソフト面においても、各種事業を充実させ更なる集客交流を進めていくとともに、藻岩山をフィールドとして活動する事業者・NPO団体などの人材育成を図り、リニューアル後の施設を十分に活用して事業展開を図る体制づくりを進めていくことが長期にわたっての安定した集客を確保していくために必要なことと考えられ、藻岩山で活動する団体の把握や人材育成の手法について具体策が課題となっている。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>藻岩山は自然と共生する札幌のまちづくりの象徴として、多くの市民が誇りに思う対象であり、札幌を感じられる場所・見える場所として、市民や観光客の区別なく誰もが訪れたいような場所となることを目指すものである。本事業は、今後の環境重視社会、超高齢社会に対応したまちづくりの一環として、まちづくり交付金の制度なども活用して進めるものである。 今後、札幌市と本事業に係わる民間事業者、関係機関との適切な役割分担のもと「藻岩山魅力アップ構想」の着実な推進及び具体化を図っていく。 施設は平成23年12月リニューアルオープンを目標に整備中であるが、オープン後は、魅力あるソフト事業を展開していくこと、そのための関係団体・機関の連携を目的とした運営委員会の設立と、ソフト事業を担う人材の育成など積極的な情報発信・PR活動の展開を進めていく。また、これによって藻岩山に集客される市民、観光客をいかに市内の各観光施設に還流させるかについても、山頂展望台内に設置する札幌紹介施設の活用と山麓ロープウェイ駅までの交通アクセスという両面から検討していく。</p>							

## 平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-4-1			事業名	藻岩山魅力アップ事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	22,400	41,200	277,700	262,700	604,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	16,600	79,200	77,200	173,000			
		市の債	0	5,760	33,270	26,970	66,000			
		その他の	0	0	80,000	70,000	150,000			
		一般財源	22,400	18,840	85,230	88,530	215,000			
予算	事業費	22,400	36,300	44,300	55,800	158,800				
	財源内訳	国・道支出金	0	12,884	17,000	6,500	36,384			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	22,400	23,416	27,300	49,300	122,416			
実績	事業費	21,714	15,744	40,816	45,861	124,135				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	14,800	14,500	29,300			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	21,714	15,744	26,016	31,361	94,835			
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					20.6%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
<p>《全体》事業スケジュールとしては、プロポーザル事業者の選定が北海道開発局の談合問題等の影響を受け再募集となったことに伴い、当初の計画より、約半年の遅れが生じた。さらに21年度後半に自然保護関係を中心とした各種市民団体から事業の見直しに関する要望が出され、これに伴う設計修正による遅れも発生している。事業規模についても、20年末からの急速な経済環境の悪化により資金調達計画の変更が必要となり、これに伴い事業規模を縮小した。</p> <p>[19年度]</p> <p>[20年度] 事業スケジュールの遅れに伴い、20年度に予定していた設計業務が21年度の実施となった。まちづくり交付金の活用も21年度からとなり、21年度に基本設計・実施設計、22年度に解体・建設工事を実施し、22年度末に竣工という計画である。</p> <p>[21年度] 設計の見直しにより、実施設計が22年度にずれこんでおり、これに伴って建設工事の着工が22年秋、竣工は23年秋の見込み。</p> <p>[22年度] 設計の見直しの結果、建設工事着工が10月下旬となった。これに要する補正予算を3定議会で議決している。工事については、振興公社への補助金であるが、解体工事と一部資材の調達为主体であったため、本格的な工事は23年度となる。</p>										